



# 市議会だより



写真協力：宇治市

vol.161

2021. 6. 1

発行／宇治市議会

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL.0774-20-8747（直）

編集／広報委員会

## contents

- 02 ◆ 3月定例会の概要
  - ◆ 令和3年度 一般会計予算の概要
- 03 ◆ 3月定例会の議決結果
- 04 ◆ 常任委員会の報告
- 08 ◆ 一般質問（代表質問）
- 10 ◆ 一般質問（個人質問）
- 14 ◆ 令和3年度 予算審査報告
  - ◆ 令和3年度 一般会計予算等に対する討論
- 15 ◆ 議事内容（抜粋）
  - ◆ 議会の動画配信中、ホームページからの閲覧方法
- 15 ◆ 傍聴に関するご協力のお願い
- 16 ◆ 公平委員会委員の選任に同意
  - ◆ 副市長の選任に同意
  - ◆ 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意
  - ◆ 人権擁護委員候補者の推薦に適任の意見
  - ◆ 読者アンケート
  - ◆ 次回定例会のお知らせ

# 令和3年度 一般会計予算 可決

## コロナワクチン接種体制確保等 補正予算 可決

### 3月 定例会の 概要

3月定例会は2月22日から3月30日までの37日間の会期で開かれました。今定例会では、市から提出された「令和3年度宇治市一般会計予算」をはじめとする31議案が可決（同意）されました。（3ページに議決結果を掲載）

市政に関する一般質問は、3月2日、3日、4日の3日間にわたり、5人の議員が代表質問を、7人の議員が個人質問を行いました。（8～13ページに掲載）

可決

令和3年度 一般会計予算

641億4000万円

### 予算の概要

新型コロナウイルス  
感染症対策  
約13億円

- ワクチン接種に要する経費
- 感染拡大防止対策の実施に要する経費
- 市民への支援に要する経費
- 事業者等への支援に要する経費
- 障害福祉・介護保険サービス事業所等への支援に要する経費
- ICTを活用した取組に要する経費

子育てにやさしいまちづくり  
実現プロジェクト  
約4千万円

①定住促進  
(住んでよかった)

③移住促進  
(住みたい)

②魅力発信  
(伝えたい)

### 定住促進

- 地域まちづくり交流空間創出事業費
- こども未来キャンパス事業費 他

### 魅力発信

- 「まちにわ」ネットワーク形成事業費
- ワーケーション受入体制支援事業費

### 移住促進

- 空き家活用促進まちづくり支援事業費

輝く宇治を創造する取組を推進

新規事業59事業、拡充事業56事業

（予算審査報告などの詳細は14ページに掲載）

## 3月定例会

## 議決結果

## ◆すべての会派が賛成した議案

議事内容 (注2)		
議案	議会会議規則の一部改正【委員会提案】	令和3年度墓地公園事業特別会計予算<予算特別>
	令和3年度水道事業会計予算<予算特別>	令和3年度公共下水道事業会計予算<予算特別>
	墓地公園条例の全部改正<予算特別>	建築基準法等関係事務手数料条例の一部改正<予算特別>
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正<文教福祉>	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正<文教福祉>
	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正<文教福祉>	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方針に関する基準を定める条例の一部改正<文教福祉>
	市道路線の認定<建設水道>	市道路線の廃止<建設水道>
	令和2年度一般会計補正予算(第14号)	令和2年度一般会計補正予算(第15号)
	令和2年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	令和2年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
	令和2年度水道事業会計補正予算(第2号)	令和2年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)
	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)<予算特別>	公平委員会委員の選任同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任同意	
質問	人権擁護委員候補者の推薦に意見	

## ◆会派で賛否が分かれた議案

○印=賛成、×印=反対

議事内容 (注2)	議決結果	会派名					無会派	無会派
		未来	共産	自民	公明	維・宇	1	2
議案	令和3年度一般会計予算<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ○
	令和3年度国民健康保険事業特別会計予算<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ○
	令和3年度後期高齢者医療事業特別会計予算<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ○
	令和3年度介護保険事業特別会計予算<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ○
	集会所に関する条例の一部改正<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ×
	同修正案【議員提案】	否決	×	○	×	×	×	×
	お茶と宇治のまち歴史公園条例の制定<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ○
	介護保険条例の一部改正<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ○
	国民健康保険条例の一部改正<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ×
	同修正案【議員提案】	否決	×	○	×	×	×	○
	お茶と宇治のまち歴史公園の管理に係る指定管理者の指定<予算特別>	可決	○	×	○	○	○	○ ○
意見書案	副市長の選任同意	同意	○	×	○	○	○	○ ○
	新型コロナウイルスのワクチン接種にあたって、自治体と医療機関への支援の抜本的な強化を求める意見書	否決	×	○	×	×	×	○
	国の責任による全学年での35人学級の早期実現を求める意見書	否決	×	○	×	×	×	○

(注1) 議長のため表決に加わっていません。

(注2) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。 議案の後ろの&lt; &gt;内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。

※ 議事内容（抜粋）は15ページに掲載しています。

# 常任委員会の報告

## 総務

### 2月 2日 ハザードマップの更新を報告

審査  
項目

●報告 宇治市ハザードマップの  
更新について

#### 市の説明

平成27年の水防法改正で新たに想定最大規模降雨の全国統一基準が設定されたことにより、国及び府は各管理河川の洪水浸水想定区域図を公表した。これを受けて本市はハザードマップを更新し、平成30年10月発行の総合情報誌「宇治市くらしの便利帳2018」に掲載した。

今回、令和3年2月に「宇治市くらしの便利帳令和3年・4年保存版」を発行するに当たり、新たに公表された洪水浸水想定区域図や前回発行後に受けた意見などを踏まえ、掲載内容を検討してハザードマップを更新した。

#### 委員からの質疑

●天ヶ瀬ダムが決壊したときの浸水想定やハザードマップは府や国の責任で作成すべきだと思うが要望を出しているのか

- 良いものができて評価するが少し見づらくなってしまっている点がもったいない。改善して欲しい
- ホームページでは、くらしの便利帳の紙面をPDF化したものを公開しているが、ウェブで調べられるように改善できないのか
- 先進地では防災マップアプリの導入が進んでいるが、本市でもGPS機能を利用して現在地から避難所経路が確認できるようなアプリを導入してはどうか
- コロナ禍で出前講座や町内会での集まりやイベントができない中、自主防災組織育成事業補助金や災害時安否確認ボード、出前講座等はどのような状況になっているのか



46ページ以降に掲載されています。

### 3月 8日 第4次防犯推進計画を報告

審査  
項目

●報告 宇治市第4次防犯推進計画  
策定について

#### 市の説明

第4次防犯推進計画策定にあたり令和2年11月20日から12月28日までパブリックコメントを実施し、結果、意見提出者数は7人、意見数は12件であった。

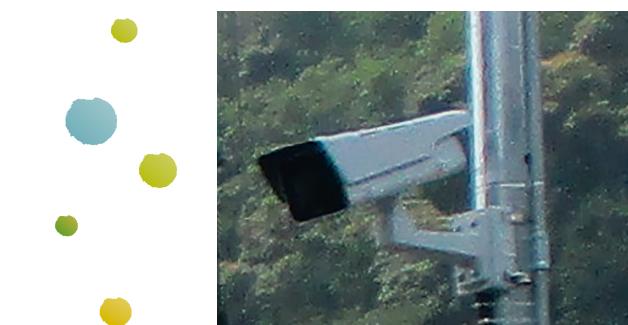
計画初案に「防犯カメラの積極的な取組を推進してほしい」とした意見等を反映する他、文言整理、字句修正等を行い、第4次防犯推進計画を年度内に策定する。

#### 委員からの質疑

●防犯事業者と連携した防犯カメラ付自動販売機の設置実施から2年経過した割に台数が少ない。事業者の協力も必要だが、連携をどう考えるのか

●パブリックコメントの意見に対し、丁寧に取り組んでいる。意見を出された方の中に当事者、被害者、加害者、保護司、見守り隊の方は含まれているのか

- 教育委員会と連携して学校周辺地域の見守りにも活用できる防犯カメラの設置に取り組むとあるが、どのような防犯カメラなのか



実際に設置されている防犯カメラ

## 文教福祉

### 1月 令和3年度宇治市国民健康 29日 保険事業の運営を報告

審査  
項目

●報告 令和3年度宇治市国民健康保険  
事業の運営について（答申）

#### 市の説明

1月7日、市長は宇治市国民健康保険運営協議会に対し、令和3年度宇治市国民健康保険事業運営について諮詢した。計3回にわたる協議を経てまとめられた協議会の答申内容を十分に尊重し、令和3年度事業に反映する。

#### 答申の概要

令和元年度及び令和2年度の保険料は平成30年度の標準保険料率に据え置いてきたが、令和3年度は改めて国保財政を安定化し、持続可能な医療制度を実現するという制度改革の趣旨及び制度改革以降の経過を踏まえ、府が示した標準保険料率に基づいて設定することが妥当であると考える。

なお、令和3年度に見込まれる歳入不足については、健全な財政維持の観点から国民健康保険財政調整基金のうち1億5000万円を取り崩すことはやむを得ない。

いものと見える。今後も国・府の動向等を慎重に見定め、安定した財政運営に努められたい。

また、要望事項として保険料収納率向上及び保険給付の適正化、保健事業の充実、被保険者への普及啓発、健全な事業運営についての4項目を付す。

#### 委員からの質疑

- 基金が枯渇するかもしれないと心配するが、基金を確保する方策を考えているのか
- コロナに関わる保険料減免制度の利用者は何名いるのか
- 医療費が増加傾向にある中、何度も会議を重ねた協議会の答申は尊重して考えるべきでは
- 今回は府の標準保険料率に合わせ判断をしたが、昨年の率に据え置いた場合の案も選択肢にあったのか
- 府基準に合わせるという基本姿勢がありながらも、できるだけ加入者に負担をかけないように今まで考えてきたのでは



### 3月 令和3年度育成学級の 9日 入級状況を報告

審査  
項目

●報告 令和3年度育成学級の  
入級状況について

#### 市の説明

令和3年度育成学級の一斉受付は、入級定員の合計2070人に対し、2105人の申請があった。

入級定員を超過している学級は南部、大開、大久保、西大久保、槇島、北槇島、小倉、西小倉、南小倉、宇治、木幡学級の11学級である。これら11学級については、必要に応じて既存の育成学級施設に加えて暫定的に学校の教室等を放課後に限って借用して運営するなどの対応をすることで、令和3年4月からの学級運営を行う予定としている。

4月に実際に入級する児童数は、一斉受付期間後に申請があったり、一斉受付期間内に申請していても辞退される場合もあり、今後も変動が予測される。

#### 委員からの質疑

- 昨年度に比べて、申請者数が減った理由は定員を超過している学級は指導員の人数も増やすのか



# 常任委員会の報告

## 市民環境

### 2月 3日 地域コミュニティ再編計画の進捗を報告

審査  
項目

●報告 宇治市地域コミュニティ  
再編計画の進捗について

#### 市の説明

平成31年3月に策定した地域コミュニティ再編計画に基づき、計画内容の説明や意見交換会などを令和3年1月末までに37カ所の集会所、70の関係団体に実施した。説明会等では、無償譲渡に関する質問や集会所管理者を担う負担、集会所運営委員会の組織存続が困難であるとの意見などが上がった。

現在、稼働率や利用日数、近隣の代替施設の有無等を踏まえ、地域と意見交換をした上で、集会所運営委員会及び所属する町内会・自治会から、3カ所の集会所の廃止の意向を受けており、調整を進めている。

今後も、説明会や意見交換ができていない地域にも順次出向き、取組を進めていく。

#### 委員からの質疑

●説明に回る中で、無償譲渡への意向や手を挙げる地域はあったのか

### 3月 10日 廃棄物処理公社の未処理水河川放流事業の再発防止対策を報告

審査  
項目

●報告 一般財団法人宇治廃棄物処理公社における未処理水放流事業等に係る再発防止対策について

#### 市の説明

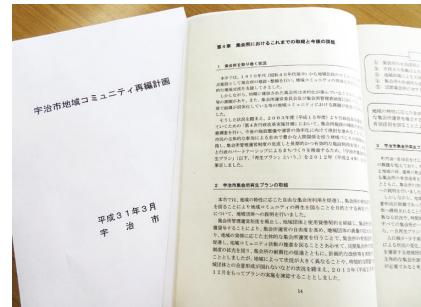
廃棄物処理公社は、未処理水を河川に放流していた事業等に関して、廃棄物処理公社未処理水放流事業等調査委員会の提言を踏まえ、再発防止対策の取組をまとめた。

市として再発防止対策の取組が着実に進められるよう、引き続き公社への指導を徹底し、市民の信頼回復に向けて最大限努めていく。

#### 公社の再発防止対策

施設面では、第3期処分地の浸出水処理施設への送水管の設置は実施済で、第1期及び第2期処分地の側溝の清掃は令和3年3月に、第1期及び第2期処分地の側溝の改修等工事は同年6月完了予定である。抜本的な雨水対策は、専門業者と調整中である。組織面では、専門機関による監査及び環境マネジメントシステ

- 町内会・自治会加入率の低下への課題に対し、市は町内会・自治会以外のさまざまな地域団体との横断的な連携も必要と回答しているが、具体的な想定は
- コロナが収束し、全住民に説明が行き渡り、合意形成ができるまでは、集会所の譲渡や廃止を進める計画は一旦止めるべきでは
- 利用率が低いから閉めるということでは、理解されにくい。なくすことのデメリットは感じやすいので、自主防災の拠点になるなど、希望を持てるメリットを示す方が理解してもらえるのでは
- 集会所を減らす点しか見えてこない。なぜ集会所を減らすのか、市民への発信が弱いため、コミュニティが衰退するようにとらえられてしまうのでは



地域コミュニティ再編計画

ムの構築、外部研修の受講を令和3年度中に実施する予定。業務マニュアルの整備や職場会議の定期的開催は実施済みである。対策に係る点検・検証は、工程表の作成を令和3年3月に完了予定。(仮称)点検・検証委員会の設置を検討中である。

#### 委員からの質疑

- 数年前と比較すると、正職員が4名から1名に減少している。技術及び知識の継承が十分に行われていないのでは
- 検討中としている点検・検証委員会の設置は、対策がどれくらい進んだかを検証する非常に重要な委員会となるがどう考えているのか
- 不適正な処理が行われた期間は、担当者が前任者から引き継いだ少なくとも18年間としているが、何年前から行われていたのか明確にすべきでは
- 公社の体制、体質は本当に変わったのか。変化をどう捉えているのか
- 具体的な取組がこれからでは、体質が改善されているのかが不安になる。しっかりと取り組んで欲しい



# 建設水道

## 2月 都市計画マスター プランの全体構想を報告

審査  
項目

●報告 次期宇治市都市計画マスター プランの策定について(中間報告)

### 市の説明

次期宇治市都市計画マスター プラン検討部会から、マスター プラン策定にかかる中間報告を受けた。

目標年次は、おおむね 20 年後の宇治市を展望するため 2042 年とする。少子高齢化や気候変動、新型コロナウイルスの蔓延、第 4 次産業革命の進展など、生活様式や産業構造に大きな変化の兆候が見られ、長期的に将来を見通すことは極めて難しいことから、マスター プランの見直しは総合計画の総括・検証のサイクルに連動する形とする。今回、「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を基本理念として継続し、新たに 4 つの基本目標を定めた。20 年後に目指すべき将来の都市の姿を描いた将来都市構造図も記載している。

### 委員からの質疑

- 平成 16 年のマスター プラン策定時のように、市民参加のワークショップを開催しない理由は
- 地域内での移動をどうするのか、どう生活するのかを具体的に示すべきだと思うが考えは

- 各担当部局があると思うが、コンパクトシティに近づけていくような立地適正化の考え方と、若者に選ばれる仕事の魅力発信を含めた議論をして欲しいが考えは
- 企業誘致を考えると、渋滞などの問題も出てくるが、道路整備を進めることで候補地が魅力ある有効な土地になるのでは
- 市の半分を占める山間部を有効に生かした産業誘致はできないか

<将来都市構造図>



## 3月 公共交通体系基本計画 (初案) を報告

審査  
項目

●報告 宇治市公共交通体系基本計画  
(初案) について

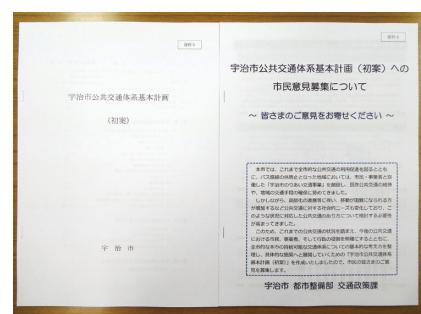
### 市の説明

本市では、これまで全市的な公共交通の利用促進を図り、バス路線が休廃止となった地域では、市民、事業者と協働した「宇治市のりあい交通事業」を創設し、既存公共交通の維持や地域の交通手段の確保に努めてきた。しかし、高齢化の進展等に伴い、公共交通に対する社会的ニーズも変化し、その在り方を検討する必要性が高まってきたため、令和 15 年度までの 13 年間の期間の公共交通体系基本計画を策定する。

また、基本計画（初案）に対するパブリックコメントを令和 3 年 4 月 14 日まで募集し、令和 3 年 5 月の計画策定を予定している。

### 委員からの質疑

- 基本方針に基づく取り組みの中で、どのような進展を見込んでいるのか
- 目指すべき目標は、もう少し鮮明にイメージが湧きやすいように設定すべきでは
- 高齢者等の多様化するニーズにはタクシー利用も重要だ。タクシー事業も支え守っていく考えを
- 具体的な事業計画は、いつから動き出すのか
- 基本計画に、地域の実態を反映しないのか



公共交通体系基本計画（初案）とパブリックコメント

# 一般質問（代表質問）

うじ未来

まつ みね しげる  
**松峯 茂** 議員



近鉄小倉駅周辺まちづくり、基本構想の策定を

答弁 スピード感を持って、取り組む

問 近鉄小倉駅周辺のまちづくりでは、検討委員会を設置し、基本構想の策定スケジュールを示すとしていたが、策定前に土地の購入が進んだ。駅西側の商業施設跡地の対応が急がれ、即決断が求められるため、検討委員会で議論されたように、対応すべき施策を短期と中長期に分けて道筋を描くべきだ。市民活動の拠点となる駅周辺の整備なしに、まちづくりはないと思うが、市の考えは。

答 【市長】 市の将来を考えると、小倉地域が果たす役割は大きく、人々の交流拠点となる駅周辺整備を進め、活性化に努めていかなければならない。検討委員会で

は短期的な施策として、送迎車両のための乗降環境の必要性が確認されたため、駅前広場用地の取得に取り組むこととした。現在進めている基本構想を取りまとめ、スピード感を持って、地域と共にまちづくりに取り組んでいけるよう努めたい。

西小倉地域の小中一貫校、開校年度は

答弁 早期実現に向けて取り組む

問 西小倉地域は、令和元年12月に3小1中を統合し、新設の学校を整備して欲しいと要望があり、市教委は今年度中に開校場所を決定したいとしながら、具体的な動きが見えない。2月には西小倉地域小中一貫開校準備協議会が設置されたが、開校は何年度になるのか。

答 【市長】 保護者や地域の人に宇治黄檗学園や他市の事例を示しながら理解を得る中、協議会での意見も参考に令和3年度には開校場所の決定をしたい。また、開校年度は現時点では確定的なことは言えないが、設計や建設工事に約5年の整備期間を要すると想定しており、今後も早期実現に向けて取り組んでいく。

共産党議員団

みや もと しげ お  
**宮本 繁夫** 議員



なぜ稼働率や利用日数の多い集会所を廃止するのか

答弁 町内会として廃止の意向を固められた

問 地域コミュニティ再編計画では稼働率や利用日数の少ない集会所を対象に再編するとしながら、今回廃止する集会所より稼働率や利用日数の少ない集会所には説明にも行っていない。なぜ3箇所の集会所を廃止するのか。

答 【産業地域振興部長】 意見交換や説明を求められた地域から順次説明会を行い、最終的に地域として意向を固められたと理解している。

問 集会所は町内会だけが使っているものではない。昨年はコロナ禍であっても、役員会や喜老会、サロン、サークル、防災会議などで月に10日程利用した集会

所も廃止だ。集会所は市民がコミュニティーを作るために使っている施設で、廃止すべきではない。

答 【同部長】 無償譲渡がよいのか、廃止がよいのか、今後の管理運営などを議論、検討し、町内会、自治会として意向を固められたと理解している。

府内で36人以上学年は16学年で、宇治市が13学年だ。なぜか

答弁 状況に応じて効果的な活用が図れるよう加配教員を配置している

問 今年度、京都市を除く府内小学校の36人以上の学年は126学年あり、内110学年は加配教員を活用して35人以下となっている。よって36人以上の学年は16学年となるが、内13学年が本市の学校だ。なぜ本市では36人以上学年の解消が進まないのか。

答 【教育部長】 府教委から配当される少人数指導等の加配教員を解消にのみ活用すれば可能だが、本市では各校の状況に応じて少人数授業や専科指導等に充て、学力の向上、各校の課題解消等に努めるなど、効果的な活用が図れるように、35人以下学級となっている学校にも加配教員を配置している。